

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施 主体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	山木将弘	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	新野 聡	0185-55-8004	企業による新卒者求人活動促進事業	新規高卒者の管内企業への就職・定着は、地域産業維持・振興及び人口減少問題対策のための必須条件であるが、高校生に対して管内企業の情報が十分に発信されているとは言えない状況であるため、管内企業で働く若手職員に着目した冊子を作成することにより、新規高卒者の地元就職と定着を促進する。	209,664	直営	高校生が就職先を検討する際の参考としてもらい、新卒者の地元就職率の向上を図るため、管内企業で働く若手従業員に着目した「能代山本ふるさと企業『仕事ナビ』」を作成し、管内高等学校に通う高校2年生等へ配布した。 □仕様・制作部数:A4判カラー24頁、1,000部 □配布先:管内高等学校(5校)、支援学校、専門学校他	県	管内高校生、県内大学・専門学校等	平成28年4月1日	各校の反応は概ね良好であり、高校生に多くの管内企業を知ってもらうとともに、仕事内容を具体的にイメージすることで就職後のギャップを緩和させ、職場定着につながるものと期待される。	企業自らが積極的に情報発信していくことが最も重要であり、県は市町、雇用開発協会と連携して、引き続き企業の情報発信をサポートしていく必要がある。
						平成28年4月1日～平成29年3月31日							平成29年5月19日		
総務企画部	山木将弘	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	新野 聡	0185-55-8004	新卒者のふるさと企業就職意識啓発事業	就職希望の高校生の地元就職を促進するため、また、進学希望の高校生が卒業後に地元へ就職するための意識啓発を行う。	179,977	直営	地元企業への就職を呼びかける啓発グッズを作成し、管内の高校生等へ配付した。 □制作・配布物:ポールペン、1,200本 □配布先:管内高等学校(5校)、支援学校	県	管内高校生、県内大学・専門学校等	平成28年4月1日	管内で働く若手従業員に着目した「能代山本ふるさと企業『仕事ナビ』」と合わせて配付することで、地元企業PRと地元就職の意識付けとなった。	地元就職意識を高める特効薬はなく、息の長い取組が求められることから、学校、市町、関係機関と連携した取組の継続が必要である。
						平成28年4月1日～平成29年3月31日							平成29年5月19日		
総務企画部	山木将弘	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	新野 聡	0185-55-8004	新卒者・企業マッチング機会拡大事業	新規高卒者の管内企業への就職・定着は、地域産業維持・振興及び人口減少問題対策のための必須条件であることから、高校生と地元企業が一堂に会する機会を作る。	178,700	直営	早い時期から地元企業を知ってもらい、地元就職率の向上を図るため、高校2年生を対象とした「企業・業種ガイダンス」を関係機関と連携して開催した。 □開催日:平成29年2月23日 □会場:能代市文化会館 中ホール □主催:県、能代市、能代山本雇用開発協会 □後援:ハローワーク能代 □参加事業所・生徒:事業所30社(県、能代市含む)、生徒242人	県、能代市、能代山本雇用開発協会	管内高等学校、支援学校等	平成28年4月1日	高校2年生を対象としたガイダンスは初めての試みであったが、高校生、学校、参加企業へのアンケートではいずれも有意義であったとの回答が多く、継続実施を求める声が寄せられている。	当初の想定よりも参加生徒及び企業が多かったことから、次回実施の際は会場の見直しや企業ブースやプレゼン方法などについて改善していく必要がある。
						平成28年4月1日～平成29年3月31日							平成29年5月19日		
総務企画部	山木将弘	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	新野 聡	0185-55-8004	エネルギー関連産業拡大推進事業	新エネルギー導入拡大による地域産業振興は、市町、企業、住民からの期待が大きいことから、新エネルギーの導入拡大や管内企業の関連産業参入・参画を推進するための勉強会等を開催する。	175,000	直営	新エネルギーの導入拡大や関連産業への参入を推進するため、能代市と連携して管内企業を対象とした勉強会やシンポジウムを開催したほか、苫小牧CCS実証試験施設の視察を行った。 ①洋上風力勉強会 □開催日:平成28年5月20日 □会場:シャトー赤阪 □講師:谷口信雄氏(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)ほか ②のしろ水素エネルギーシンポジウム □開催日:平成29年2月23日 □会場:プラザ都 □講師:大平英二氏(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 主任研究員)	県、能代市、能代市再生可能エネルギー研究会	能代市再生可能エネルギー研究会、関連企業等	平成28年4月1日	能代市、三種町、八峰町では風力発電の導入が進み、洋上風力も含め新たな動きもあり、県内での再生可能エネルギーの導入に大きく貢献している。	風力発電に加えて、水素エネルギー、CCS(二酸化炭素地下貯留)など新たな技術についても最新の情報を入手・共有していくことが導入拡大の基礎となる。
						平成28年4月1日～平成29年3月31日							平成29年5月19日		
総務企画部	山木将弘	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	新野 聡	0185-55-8004	能代港利活用促進事業	能代港利活用促進による地域産業振興は、市町、企業、住民からの期待が大きいことから、港湾利用に関する国や他県の取組について情報収集する。	28,600	直営	能代市と連携して能代港の利活用促進に関する勉強会を開催したほか、国際資源循環フォーラムへ参加した。	県、能代市、能代港湾振興会等	能代港湾振興会、地域住民等	平成28年4月1日	能代港の現状や課題について港湾関係者・企業とともに理解を深めることができた。	今後も港湾利用に関する情報収集や関係者・企業との情報共有を図っていく。
						平成28年4月1日～平成29年3月31日							平成29年5月19日		

部名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名・事業期間	事業目的・必要性	事業費(円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日(部局長会議等)及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び取組方向
総務企画部	山木将弘	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	新野 聡	0185-55-8004	地域ゆかりの関東圏企業との交流による企業誘致・物産振興促進事業	能代山本地域とゆかりのある関東圏企業との交流を通して、情報収集・提供、企業誘致、取引拡大、技術誘致を推進し雇用を創造するため、「能代山本関東圏企業懇談会」を開催する。	238,000	負担金・直営	管内市町等と連携して「能代山本関東圏企業懇談会」を開催した。 □開催日:平成28年10月31日 □会場:アルカディア市ヶ谷(東京都) □参加者:104人(企業等:76人、行政関係:28人)	能代山本関東圏企業懇談会実行委員会	管内誘致企業及びその本社・親会社、その他ゆかりのある企業・個人等	平成28年4月1日	管内市町と県(振興局)が一体となって開催し、誘致企業及びその本社・親会社等との交流を深めることにより、参加企業への安心感を与え、雇用の維持や取引拡大につながるものと期待される。	雇用の維持・創造等のためには誘致企業等と良好な関係を保っていくことが必要であり、継続した取組が求められる。
						平成28年4月1日～平成29年3月31日									
農林部	河越博之	農業振興普及課	産地・普及班	小林恭二	0185-52-1242	大規模園芸経営体育成事業	国の農政改革、TPP大筋合意を踏まえ、園芸品目の大規模経営体を確立することにより地域農業を持続的に発展させるため、29年度以降に園芸メカ団地事業実施に向かう大規模園芸経営体を育成する。	86,550	直営	園芸品目別に具体的な大規模経営戦略を検討するとともに、園芸メカ団地を模索している品目、地域を対象にした先進事例調査や実践事例検討会を実施した。 ①大規模園芸経営体の育成に係る視察研修 □開催日:平成28年11月17日 □場所:男鹿潟上地区園芸メカ団地、秋田市雄和地区園芸メカ団地 □参加者14名(農業者、関係機関) ②大規模園芸経営体の育成に係る実践事例検討会 □開催日:平成29年3月15日 □会場:庁舎第一会議室 □参加者:11名(関係機関)	県	管内市町、JA、農業者等	平成28年4月1日	「やまもと未来園芸戦略会議」を設置し、関係機関間の合意形成と推進体制が整った。 ・大規模園芸経営体の育成河戸川と久喜沢の2地区で、既存の轟地区園芸メカ団地を核としたネギの生産を目的としたネットワーク型園芸拠点整備事業への取り組みがH29年度から始まることとなった。	既存の法人等に対する大規模園芸経営体への誘導、新たな大規模園芸経営体の担い手となる基盤整備事業実施地域の法人の設立を支援していく。また、ネギ以外の品目についても、他産地の先進事例等を調査し、地域での普及拡大を検討する。
						平成28年4月1日～平成29年3月31日									
農林部	河越博之	森づくり推進課	森林整備第一班	佐藤文秀	0185-52-2181	ナラ等広葉樹材利活用の推進によるナラ枯れ被害拡大防止事業	平成27年度に能代・山本管内で初となるナラ枯れ被害が確認された。被害の拡大を防止するためには、ナラ枯れの原因となるカンノナガキクイムシが好む生活環境を作らないことが重要であることから、その有効手段とされる広葉樹林の積極的な利活用と広葉樹林の若返りを推進する。	147,823	負担金・直営	ナラ等広葉樹林の利活用とナラ枯れ被害に関する知識の普及を目的としたパンフレットを作成・配布するとともに、巡視員等の研修会を開催した。 □開催日:平成28年8月23日 □場所:八峰町御所ノ台地区 □参集範囲:森林保全巡視指導員、森づくり運動推進員、市町、白神森林組合 □参加者:25名	県	地域住民等	平成28年4月1日	パンフレットを森林所有者を中心に配布したところ、ナラ枯れの知識の普及とナラ林の積極的な利活用及び若返りを推進することができた。また、巡視員の研修会を開催し、ナラ枯れ木の早期発見及び早期駆除につながったことから、被害の拡大防止に寄与した。	平成29年度からスタートする新規事業(ナラ枯れ被害拡大防止緊急対策事業)を推進するにあたり、さらなる普及啓蒙活動を展開し、被害の拡大防止を図る。
						平成28年4月1日～平成29年3月31日									
総務企画部	山木将弘	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	新野 聡	0185-55-8004	住民による地域課題解決のための支え合い活動推進事業	能代山本地域を拠点に地域の元気づくりのために活動している団体同士の交流を通じて、それぞれの長所や課題の共有を図り、互いに協力できる部分を模索し、団体間の協働のきっかけづくりとすることを目的として交流イベントを開催する。	306,565	委託	地域づくり活動団体・法人・県民等を対象とした交流イベント「県北サミット～我々のできる協働事業～」を開催した。 □開催日:平成28年12月17日 □会場:能代山本広域交流センター □講師:わらび座 加藤富子氏 □参加者:約30人	県、NPO	管内で活動している地域づくり活動団体・法人・県民等	平成28年4月1日	イベントではコミュニケーションワークショップも実施しており、参加団体(者)がワークショップを通じて交流を図り、協働のきっかけづくりにつながった。	地域づくりに取り組む団体や個人の有機的なネットワークを作るため、交流の場をつくなど継続した支援が必要である。
						平成28年4月1日～平成29年3月31日									

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施 主体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画 部	山木将弘	地域企画 課	企画・しら かみ観光 振興班	新野 聡	0185-55- 8004	住民による地域の元 気・にぎわい創出の ための文化活動推 進事業	能代山本地域でイベント等の少 なくなる冬期間(11月～2月)に、 県民や地域が自主的・主体的に 取り組む地域の元気やにぎわい 創出の芽出しとなる事業(イベ ント・講演会等)を支援し、県民が 主体となり活力に満ちた地域づ くりを推進する。	135,000	直営	県民や地域が自主的・主体的に取り組む3つ のイベント・講演会に講師を派遣した。 ①秋田酒トークないと！inのしろ □開催日：平成28年12月3日 □会場能代市 旧料亭「金勇」、プラザ都 □講師：山本洋子氏、森谷康市氏、古関弘氏 □主催：「秋田酒トークないと！inのしろ」実行 委員会 ②能代山本におけるインバウンド観光を考える 講演会 □開催日：平成29年2月14日 □会場：山本 地域振興局福祉環境部会議室 □講師：藤田匡佑氏(楽天㈱トラベル事業東 日本地域振興グループ)、鈴木さなえ氏(元北 京中秋共創商貿有限公司代表) □主催：能代山本のインバウンド観光を考 える会 ③齊藤心葉講演会 □開催日：平成29年2月26日 □会場：能代市 旧料亭「金勇」 □講師：齊藤心葉(割り箸書画作家) □主催：傾聴の会・ひとやすみ	県、管内で 活動してい る団体等	地域住民	平成28年4月1日	事業(イベント・講演会等) への支援を通じて、地域 住民及び団体の自主的・ 主体的なイベント実施を促 進することができた。	実施時期をイベント等が 少なくなる冬期間に限定 したが、県民及び団体等 のニーズを踏まえた再検 討も必要である。
						平成28年4月1日～ 平成29年3月31日							平成29年5月19日		
福祉環境 部	永井伸彦	企画福祉 課健康・予防 課	調整・障害 者班	佐藤健一	0185-55- 8023	住民の健康づくりと 介護予防推進事業	介護予防活動による健康寿命の 延伸は、健康長寿社会実現のた め必要である。健康づくりと介護 予防のため、住民が主体の「通 いの場」として介護予防体操を 推進するとともに、介護予防活 動として、手足におもりによる負 荷をかけた「いきいき百歳体操」 を紹介する。	215,000	直営	介護予防体操の普及活動等を行った。 ①市町職員に対する説明 □開催日：平成28年5月28日 □会場：福祉環境部会議室 ②住民向け説明会 □開催日：平成28年6月24日、7月28日 □会場：地区公民館 □参加者：住民延べ35名	県	地域住民	平成28年4月1日	・1地区において住民主体 の介護予防活動が定着し た。 ・他の地区からも問い合わせ があり、介護予防の啓 発にも繋がっている。	今後も随時問い合わせ に応じ、介護予防活動の 普及定着を図る。
						平成28年5月1日～ 平成29年3月31日							平成29年5月19日		
福祉環境 部	永井伸彦	企画福祉 課健康・予防 課	健康・予防 班	大須賀 貴人	0185-52- 4333	地域における院内 感染対策に係るネッ トワーク構築推進事 業	患者の高齢化等による易感染者 の増加や多剤耐性菌の拡がりに より、個々の医療機関のみでの 対応だけでなく地域全体での対 応も求められてきている。そのた め、能代山本地域における院内 感染対策のためのネットワー クの構築を推進し、医療機関にお ける院内感染対策の向上を図 る。	146,657	直営	医療機関等における感染対策のための研修会 等を開催した。 ①高齢者施設における感染症対策研修会 □開催日：平成28年10月28日 □会場：地域振興局会議室 □講師：JCHO秋田病院 感染管理認定看護師 阿部亜矢子氏 ②能代山本地域院内感染対策合同カンファ レンス □開催日：平成28年12月20日 □会場：地域振興局会議室 □講師：能代厚生医療センター 看護主任 袴田 陽子氏 ③能代山本地域感染対策ネットワーク研修会 □開催日：平成29年2月13日 □会場：能代厚生医療センター講堂 □講師：秋田大学医学部大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座 准教授 植木重治 氏、秋田大学医学部附属病院 感染制御部 看 護師長 中村美央氏	県	地域の医 療施設、 介護施設	平成28年4月1日	他の医療機関の取組を見 聞きする機会を設け、各 組織の壁を越えて感染対 策について協議・検討を 重ねることにより、相互連 携のための関係づくりを進 めることができた。	医療資源の少ない地域 であることから効率的効 果的な事業展開を引き 続き実施。引き続き高い 意識を持って地域全体と して感染対策強化に向け た意識の醸成を図ってい く。
						平成28年4月1日～ 平成29年3月31日							平成29年5月19日		

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施 主体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
福祉環境 部	永井伸彦	企画福祉 課 健康・予防 班	健康・予防 班	宮野佳子	0185-52- 4331	食品事業者適正表 示推進事業	県産品を広域流通させるためには製造者などの食品関連事業者自身が適切に表示を実施することが必要となるが、管内の事業所の多くが小規模で、人材の採用または育成の対応が困難な状況にある。これら食品関連事業者が食品表示法に基づく適正な表示を実施するための人材養成を支援する。	162,440	直営	製造業者や直売所開設者を対象とした基礎セミナーを開催した。 □開催日：平成28年9月8日 □会場：能代山本広域交流センター 多目的ホール □講師：一般社団法人日本食品分析センター 微生物部 技術支援課 エキスパート 齋藤紀子氏 □参加者：61名（食品関係業者：53名、行政8名）	県	食品関連 事業者	平成28年4月1日	・食品表示の重要性を改めて再確認する機会となった。 ・正しい表示方法について、分かりやすい解説と事例をまじえた内容により、事業者等は理解を深められた。	・記載する表示内容は多岐にわたるため、理解するのに時間を要する。 ・適正な表示を実施するため、人材育成を引き続き行う。 ・事業者が実際に使用している表示について、適正な表示方法を関係機関と連携し、指導していく。
						平成28年4月1日～ 平成28年10月31日	平成29年5月19日								
総務企画 部	山木将弘	地域企画 課	企画・しらかみ観光 振興班	小笠原 正太	0185-55- 8006	白神山地観光を核とした着地型観光推進と受入態勢強化事業	交流人口の拡大と県内流動の促進を図るため、観光資源の掘りおこしやブラッシュアップ、受入体制の強化を推進する。	1,552,551	負担金・ 直営	●「白神7サミット(スタンプラリー)」を活用した誘客PR事業 秋田密着型旅行商品開発促進協議会(秋田県・JR秋田支社・秋田県観光連盟)が実施する白神7サミットを活用して、オリジナルスタンプ帳の作成・配布、達成記念プレゼントキャンペーン、ウェブサイト等での周知を行った。 ●周遊観光バス「白神日和号」の運行(機能合体事業) あきた白神地域のPRと二次交通アクセスの支援を行う周遊バス「白神日和号」として、秋田市発着により運行し、計10回、延べ168人の参加を集めた。 ●地域の人が自ら考える観光コンテンツの魅力アップ(機能合体事業) 自然体験ガイドと宿泊施設の2分野に關し、講演会及びパネルディスカッションを実施した。 □開催日【参加者】: 平成29年1月22日【41名】 平成29年2月2日【20名】 ●旅行会社の商品造成担当者を現地招聘し登山ルートや観光素材を提案 □対象者：株式会社アトラストレック大阪支店 旅行商品造成担当者1名 □実施日：平成28年6月11日～13日 □視察先：ニツ森、ふなっこランド、留山、田代岳、仁鮎水沢スギ植物群落保護林、金勇	機能合体 組織「あきた白神広域観光推進会議」	観光客等	平成28年4月1日	・白神7サミットスタンプラリーにかかるスタンプ帳を8888部作成し配布。888人に達成記念品を贈呈。 ・周遊観光バス「白神日和号」について、商品化に向けて参加代金を増額させたが、参加者数は堅調に推移し、リピーターの確保につながった。 ・地域の人が自ら考える観光コンテンツの魅力アップについて、参加者のアンケートは総じて好評であり、勉強と交流の機会の継続を望む意見が得られた。	民間事業者間の連携を深め、地域として観光振興に取り組む体制の確立に向けて、今後も広域観光振興の各種事業を継続する。
						平成28年4月1日～ 平成29年3月31日							平成29年5月19日		
総務企画 部	山木将弘	地域企画 課	企画・しらかみ観光 振興班	桑原郁子	0185-55- 8006	青森県・JR東日本との広域連携による県際観光推進事業	交流人口の拡大と県内流動の促進を図るため、交通事業者等と連携し、白神山地及び周辺の観光情報を発信する。	1,343,000	負担金・ 直営	●「ブナの学校運営協議会」による首都圏でのプロモーション活動「ブナの学校東京校」の実施(負担金等) アウトドアスタイル・クリエイター四角友里による講演、青森・秋田両県の白神山地案内ガイドによる講演、特産品販売等を行った。 □開催日：平成28年6月5日 □場所：アーツ千代田(東京都千代田区)	県、ブナの 学校運営 協議会	観光客等	平成28年4月1日	「ブナの学校東京校」について、新たな講師を活用したことで、若年層、女性層に白神エリアの魅力を知ってもらえることができた。	イベント内容をブラッシュアップした上で首都圏プロモーションを継続するとともに、白神エリアにおける観光客の受入態勢づくりに取り組む。
						平成28年4月1日～ 平成29年3月31日							平成29年5月19日		

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施 主体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	山木将弘	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	桑原郁子	0185-55-8006	五能線全通80周年記念事業	交流人口の拡大と県内流動の促進を図るため、五能線全通80周年を契機としたPRを行う。	280,000	負担金・直営	<p>●80周年記念ツアーの実施(機能合体事業) 五能線乗車と周辺観光を組み合わせた日帰りのバスツアーを実施した。 親子限定！リゾートしらかみ&世界遺産 夏休み体験ツアー □開催日【参加者】:平成28年8月10日【17名】 乗って撮って五能線沿線満喫ツアー □開催日【参加者】:平成28年11月6日【22名】 ●五能線で旅するコラム記事の掲載(機能合体事業) 「旅と鉄道」7月号にフルカラー8ページの取材記事広告を掲載した。 ●80周年記念乗って当てようプレゼントキャンペーン(機能合体事業) 特産品が当たるアンケートを実施した。 □応募数:360件 □アンケート質問内容:属性、旅の目的、宿泊地、同行者、自由意見等</p>	機能合体組織「あきた白神広域観光推進会議」	観光客等	平成28年4月1日	<p>・80周年記念ツアーは、申込者を確実に確保し、参加者の満足度も高い水準であった。 ・コラム記事では、地域の観光資源に即したターゲットに向けて情報発信を行うことが出来た。 ・プレゼントキャンペーンでは、県外からの観光客に特産品として地域の魅力を体験していただいたほか、アンケート結果から、当地域を訪れる観光客の属性や傾向のデータが得られた。</p>	JR東日本と連携し、五能線やリゾートしらかみ等のコンテンツを核とした受入態勢の向上につながる事業やプロモーション活動を継続する。
						平成29年5月19日									
総務企画部	山木将弘	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	小笠原 正太	0185-55-8006	観光情報発信強化事業	交流人口の拡大と県内流動の促進を図るため、各種媒体を活用し観光情報を発信する。	1,851,825	負担金・直営	<p>●新聞広告の掲載(機能合体事業) サンケイスポーツ「産直プレゼント」に特産品を計8回掲載し、39名に賞品発送した。 ●観光素材PR写真撮影委託(機能合体事業) 各種媒体に活用し有効に情報発信するため、白神山地等の自然素材や五能線などの景観、祭りなどのイベント等の写真を撮り下ろした。 □委託先:(一社)秋田白神コミュニケーションセンター ●総合パンフレット「白神日和」の増刷(機能合体事業) □増刷部数:1万部 ●ウェブサイト「あきた白神・たびネット」による情報提供(機能合体事業) 既設ホームページの保守・管理委託業務 □平成28年度アクセス数:56,873件</p>	機能合体組織「あきた白神広域観光推進会議」	観光客等	平成28年4月1日	<p>・産直プレゼントについて、賞品代のみで特産品と地域の観光情報を全国紙に掲載し情報発信することができた。 ・写真撮影委託について、各種媒体に応じて適時にデジタルを露出させることが可能になり、「あきた白神たびネット」はじめ、すでに多くの媒体で活用している。 ・総合パンフレット「白神日和」について、観光イベントでの配布や観光施設への設置でも持ち帰りが多く好評である。</p>	ターゲットに応じた媒体を活用し、十分な質と量の情報発信を一層強化していく。
						平成29年5月19日									